

4

次は、「鯉のぼり」の歌詞の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

鯉のぼり

いらかの波と雲の波^(注1)

重なる波の中空を^{(注2) なかぞら}

たちばなかを^(注3)朝風に

高く泳ぐや鯉のぼり

開ける広きその口に

舟をも呑まん様^(注4)見えて

豊かにふるふ尾ひれには^(注5)

物に動ぜぬ姿あり

(注1) いらか⇨かわらぶきの屋根。

(注2) 中空⇨空の中ほど。

(注3) たちばな⇨ミカン科の木。初夏に白い花をつける。

(文部省『尋常小学唱歌』による。)

一 次の1から4のうち、この歌詞のリズムとして最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「七音・五音」を繰り返すリズム。
- 2 「五音・七音」を繰り返すリズム。
- 3 「五音・七音・五音」を繰り返すリズム。
- 4 「七音・五音・五音」を繰り返すリズム。

二 かをるとふるふ をそれぞれ現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

三 開ける広きその口に 舟をも呑まん様見えて とありますが、これは鯉のぼりがどのように見える様子を表したものですか。次の1から4のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 吸い込まれるような青い空で、舟と競い合っている様子。
- 2 横に大きく広がって、まるで船団のように並んでいる様子。
- 3 口を大きく開けて、舟さえも飲み込んでしまいそうな様子。
- 4 開放的で広々とした夜空を、舟のように流れている様子。